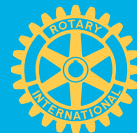




人類に奉仕する
ロータリー

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



会報

2016 ▶ 2017
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **友情の和を拡げ
奉仕の和を拡げよう**

会長 / 渡邊裕久 幹事 / 高橋理佳

プログラム

- 本日
米山月間プログラム
- 次週予定
職場訪問例会 / 自衛隊留萌駐屯地

会員誕生日
渡部英次

No. 2717
第16回 10月19日

出席報告

前例会

会員総数.....38名
出免会員.....6名
出免出席.....4名
基準会員出席.....20名
出席率.....66.67%

前々例会

第13回 9月28日

欠席会員.....11名
内メイクアップ.....2名
修正出席率.....74.29%

例会 / 毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 10月1日午後1時30分より開催された、地区の会長・幹事会に高橋幹事と出席して参りました。その後に開催された地区指導者育成セミナーにも出席しました。18時から小船井RI会長代理歓迎晩さん会があり、これに出席してから留萌クラブの留萌ナイトの2次会へ合流いたしました。2日目は皆さんと地区大会に参加しました。留萌クラブはロータリー財団1人当たりの寄付額優秀クラブ第2位として表彰を受けました。また、米山記念奨学会累計2,000万円達成クラブ表彰も受けました。会員皆様のご協力に感謝申し上げます。会員では高田会員が、ロータリー財団にてよりヤードナーとして表彰も受けられました。ここで高田会員にお渡しいたしま

す。

2. 10月1日、森将由生会員のお父様がお逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

📁 幹事報告

- 芦別RC、赤平RCより9月会報を受領しました。
- 砂川RCより10月例会案内を受領しました。
- ガバナー事務所より2016~2017年度地区名簿が届いております。
- ガバナー事務所より、この度の台風災害で被災された地域への義援金のお願いが届いております。金額の指定はございませんが、一人1,000円以上の寄付をお願いします。2週に渡り義援金のお願いをいたしますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

•10月2日の地区大会には登録通りのご出席をいただき、ありがとうございました。皆様のご協力で空席も目立ちませんでしたので、大変うれしく思います。ありがとうございました。

愛好会

音楽カラオケ愛好会 高田 愛好会幹事

今年度第2回目の音楽カラオケ愛好会を11月9日(水)午後6時30分より開催いたします。場所はワンポイントで、参加費は3,000円です。

今回は夜間例会に余興で歌を歌っていただいた、祐川さんを講師にお呼びしております。楽しいひと時をロータリーの仲間で過ごしませんか。本日と次週で出欠を確認いたします。よろしくお願ひします。

3分間情報

会員研修委員会 高田 委員

次期社長を約束され、素晴らしい年棒の得られた会社を捨て、なぜ破産寸前のアルミニウム製品会社に転職したのか。その「いきさつ」は、テラーがジェルティー会社に戻って3万3千ドルという素晴らしい年棒を得ると、クラブ・アルミニウム製品会社で無報酬で留まるのを見比べてふと、こんな考えが浮かんだ。「ひょっとしたら神が本当に御望みなのは、私がここに留まり働く事ではないのか」と。

テラーは長い祈りを神に捧げた。この会社に残る事は誰の目から見ても当然賢いことではないだろう。しかし、これが神のお示しになった道だという思いがテラーから離れなかった。この会社こそ神が私の為に選んで下さったのではないか、我が第二の人生を全うするため、この会社で働いて、将来この会社の経営方針を自分の手で決められるようになれば、私は今より数倍の時間を神への奉仕の為に使える。とテラーはこの様に考え、自分は神に導かれているのだという確信を深め、迷うことなく我が道を定めたのである。

こうする事で当然将来に対する不安はあったが、前途に待ち受けているやりがいのある仕事に益々熱意を燃やし、まずはジェルティー会社に辞表を出し、それから自分名義のジェル社の株を担保に6,100ドル借金して法人組織を再編して、年棒6,000ドルでクラブ・アルミニウム製品会社に収まった。

「四つのテスト」が出来るまでの経緯と、それがもたらした成果。

そこでまず第一にしなければならない事は、どんな商売をするにしても、欠く事の出来ない事であるが、高邁な倫理と道徳に基づいた会社の経営方針であった。

それで簡単ですぐ覚えらるる行動方針～倫理の物差しとでもいう物が必要であった。

これからお話は四つのテストになっていきます。次回をお楽しみに。

新会員紹介

関野 紘二 会員

職業分類：食品卸売

株式会社 食産

代表取締役社長

推薦者：渡邊会長、高橋幹事、

辻本会員増強委員長



ニコニコBOX

- 地区大会多数の出席ありがとうございました。 渡邊会長
- 地区大会お疲れ様でした。関野会員入会おめでとうございます。 高橋幹事
- 10月2日、小平町文化交流センターのステージで1曲披露させていただきました。 高田会員
- ゴルフ大会でたくさんの賞を頂きました。 串橋会員
- 商工会議所青年部の次年度会長予定者となりました。ご迷惑おかけする事もあるかと思ひます。よろしくお願ひします。 櫛井会員

前 回	313,600円
今 回	9,000円
累 計	322,600円

プログラム・・・・・・・・・・

「会長・幹事会 & 地区大会報告」

高橋 理佳 会員

今回の地区大会は、昨日までの会員数37名に対し登録32名。当日出席いただいた方が22名、前日の留萌ナイトから参加



いただいたのが10名。さらに本大会2日前のゴルフ大会には3名の会員が参加くださいました。登録率86.5%という数字は本当に皆様のご協力あってのことと改めて御礼申し上げます。

今までの地区大会の登録事務については分かりませんが、今回は昼食、懇親会の様子がかかりとかわっていたので何度もしつこく確認を取らせて頂きました。おかげさまで留萌クラブのテーブルは1つとして空席を見ずに済みました。本当にありがとうございました。

10月1日、会長と二人、バスに揺られるのびりと札幌に向かっておりましたが、燕会員から森将由生会員のお父様の訃報が届き、念のため持って行った活動計画書の慶弔欄をチェックしたりと、なんだかあつという間に着いてしまいました。しかし、今は電話じゃなくても連絡が取りあえるので便利ですね。バスの中ですっきり打ち合わせ完了でした。

本大会前日の会長・幹事会は午後1時からの受付で大変混み合っていました。座席配置図を見るとなぜか第1グループで留萌だけが奥側にぼつんと席を設けられていて逃げられないように奥に座らされたのかと思えるほどでした。

まず席に着くとA4のプリントが1枚テーブルに乗せてあり、「戦前の北海道のロータリーの発展」とタイトルが書かれていました。何に使われるか分からないプリントとにらめっこし

ていましたが、点鐘・国歌斉唱・ロータリーソング斉唱となり、いよいよ開会となりました。

今回のR I会長代理は、第2500地区釧路クラブの小船井修一様で、今回で3回目のR I会長代理を務められたそうです。非常に慣れた様子なのと、日本語であることがこんなにもお話に集中できるとは思ってもみませんでした。

R I会長代理は、例のプリントに沿ってお話が進みました。戦前の北海道で1つ目のロータリークラブは札幌クラブであり、親クラブは東京クラブであること。その後は、札幌クラブが親クラブとなり、小樽クラブが誕生し、旭川、函館、帯広、室蘭、釧路、北見と続きます。

札幌クラブの時は分かりませんが、札幌クラブが親クラブとなったころには、今回の本会議でも点鐘に使われた純銅製の梵鐘型のゴングを新しくできたクラブに寄贈していたようです。戦争を乗り越え現存しているのは2510地区では函館だけ、2500地区では帯広と釧路で、道内でも3個しか確認は取れていないようです。

第2510地区HPに今回の地区大会の写真が掲載されていて、何枚かに梵鐘型のゴングが写っておりますのでお手すきの時にご覧ください。

このような経過をたどったゴングを、今回、お里帰りの意味を含めて釧路クラブから持ち込んだということでした。もともと1つの地区であった北海道がその後分割されることになりました。「現在は2500と2510と地区は違えど元々は一つの地区」を強く訴えられていたのは、今回の道東地区を襲った災害を他人事として思わないで欲しいという気持ちもあったのかもしれない。

また、当日登録で台湾から義捐金を直接手渡しに来られた光景もロータリーの友情を強く感じましたし、それが現金だったのもびっくりでした。

その後、大会決議案上程の審議、大会決議案上程承認などなど続きましたが、会長・幹事会に出席して本大会の決議事項の内容をやっと理解することが出来ました。今回の決議事項の中でも【決議第13号】グループ再編（第1・第2の統合）についてはこれからですが2018-2019

第15回 10月12日(水) 天候/雨

年度から実行されることは決まっています。

次に、地区指導者育成セミナーがあり、基調講演はR I 第1ゾーンロータリーコーディネーターの酒井パストガバナーでした。

第1ゾーンは、北海道から東北を抜け群馬・埼玉・千葉までのエリアです。テーマは「クラブリーダーの役目」。クラブのリーダーは会長である。クラブのリーダーはリーダーと成るべき人材を育て上げなければならない。それがリーダーである会長の役目であるそうです。さらに会員増強についてもお話がありましたが、東北の地区では会員数が定数を割り地区統合の危機に瀕しているところもあるそうです。こういう話を聞くと、まだまだ自分たちの努力が足りないだけかもしれないと気持ちに余裕が出来ます。

休憩をはさんで、「地域とのつながり～先覚者の地域開拓に学ぶ～」と題して、財界さっぽろ代表取締役社長の舟本秀男様の講演がありました。札幌南クラブの会員で、毎月無料で財界さっぽろにロータリーの事が掲載されているのもこの方のおかげです。

何度も留萌出身と話されておりましたが、「留萌の方いらっしゃいますか？」と振ってくれなかったのが残念でなりません。内容はアイヌ民族が暮らしていた蝦夷に和人が入ってきたからの歴史で、疲れもたまってきたところでしたが、我が会長はいつになく身を乗り出して聞き入っておりました。何か学べたかと言われると、歴史のお勉強をしたとしかお答えのしようがありませんが面白かったです。

ホテルにチェックインするまもなく、R I 会長代理歓迎晩餐会となりました。同じ3文字なのに、晩餐会ともなればそんじょそらの懇親会とは違うだろう。フォークとナイフは外側から…などと物見高く出席しました。

まずは晩餐会ですから、主賓各のお二人はタキシード姿でした。そして挨拶などなどのご紹介が普通より丁寧に時間を費やされ、乾杯までに40分。「喉も乾いた頃だしちょっと早めに…」と心の中で呟きながら、第1グループのテーブルは和気藹々と盛り上がっておりました。

ざっと計算したところ197名ほどの晩餐会でしたが、翌日のことも考えると、「フルコースでやろう!」「わかりました!」と賛同し実行した実行委員会の皆様の心意気には感服いたします。

毎年参加してきた地区大会ですが、本大会では見えない内容に触れさせていただきました。通年はどうなのか分かりませんし、来年も同じなのかどうかも分かりません。でも、留萌クラブがロータリー財団表彰・財団一人当たり寄付額優秀クラブ第2位、ロータリー米山記念奨学会表彰・達成クラブ表彰をいただくタイミングに幹事をさせていただいたことは、とても心に残る地区大会でした。色々幹事の事は忙しいけれど、こういう嬉しいことがあるから頑張れるんだ!と自分に叱咤激励を試してみたものの、先を見るとまだ8か月半もあるんだと現実に気持ちが萎えそうです。

森 幹雄 会員

2016年10月2日(日)、ホストクラブは札幌南ロータリークラブ、会場は札幌パークホテルにて開催されました。記念後援は、



ミズノ株式会社社長 水野 正人氏(東京RC) 札幌南ロータリークラブは創立60周年を迎えます。日本ロータリークラブと東京ロータリークラブが1920年にスタートして、2020年は日本ロータリークラブの100周年です。そしてオリンピックとパラリンピックの東京大会の開催年になります。今年は、ロータリー財団が100周年になります。

1917年ロータリーが出来て12年後、国際大会がアトランタで開催され、慈善活動や困難を克服する中、色々な問題を含めて、皆で世界に良い事が出来ないかという事で財団を作ろうとの趣旨でロータリー財団がスタートしました。お金を集めては寄付する、最初の仕事は奨学金資金制度を作成。その後、ポールハリスが亡くなり、もっと財団の事業を拡大しなければなら

いとこのことで浄財をより集めることになります。R I本部を運営するのに、一人55ドル、120万人の会員がいるので、70億円弱のお金で国際ロータリーを動かします。財団は、ポリオプラスや公共基金、平和活動等の資金として、一人当たり17,000円程いただいて、大体230億円になります。年次基金で集めたお金を各地区に三年後にお返しします。財団、奨学生に必要なものはワールドファンドからそれに付け加えられます。私達の納めたお金が、国際ロータリーと財団で両輪になって世界で奉仕活動を行っています。

今年R I会長ジョン・ジャームが示したテーマは「人類に奉仕するロータリー」です。2510地区は「地域と共に活動を」のテーマで活動されます。色々な思いは、大きなスケールで、世界をもっと考えますが、実際に活動するのは、その地域のロータリーです。

私たちは力を合わせて世界に良い事を、我々が健全な事が出来るように、信頼のおける人の集まりであり、信用のおける人の集まりであります。世の中がよくなるように奉仕活動をしなければならないのではとの思いで、社会に奉仕する団体になりました。私達は奉仕団体です。ロータリーは奉仕団体です。世界には奉仕団体は無数ありますが、職業奉仕の考え方を持つロータリークラブは奉仕団体の中ではユニークな存在であります。

ロータリーは本来、職業を持っている人々が集まって動かしている奉仕活動同様。皆が自分の生業を、高潔な職業道徳でしっかり動かしていこう。自分の仕事を天職として、生涯をかけて一生懸命にやっっていこうとの思いを、高潔な倫理観を持って行う。だから仕事がうまくいく。成功して、収入も有る、色々な貢献ができる。そして奉仕活動を進めていくという事で職業奉仕はクラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕と共にロータリーの根幹であります。そして社会奉仕に入っていた青少年奉仕を五番目として設け五大奉仕になりました。

規定審議会が今年3年ぶりに開催され、変更がありました。

ロータリーは世界への広がりをもってきてい

るが、私たちの規定で全て縛るといいのかとの問いに対して、

①ロータリークラブで入会金を取らないクラブあってもいいですよ。

→取る・取らないは自由です。

②例会回数、今は週1回ですが、1ヶ月に2回でもいいですよ。

→2回でなければならないということはない。クラブで決めればよい。

③職業を持った人、又、職業を持ったOB・OGである人や奉仕活動に情熱を持った人であれば、ロータリアンとして会員資格を持つと資格範囲を広げました。

④人頭分担金を、年4ドル上げさせて下さい。→来年は59ドル、再来年は63ドル。次回規定審議会迄はこれを行いたい。

入会金、例会回数、会員資格は、それぞれのクラブのクラブ細則で決めてくださいとの事です。今まで通りならそれでよし、変更するのならそれも良い事です。基本的にはクラブで決めてください等々。我々を取り巻く環境が変わってきているという事を感じさせます。国際ロータリーはシカゴに600名の職員を置き、仕事をしています。会員数は120万人で、このまま右肩上がりが増えていくとは思えないし、この規模が維持できるとは思えない。そうすれば、経費を下げていかなければならない。経費を下げるということは、600人を500人にするのか、400人にするのかという問題に遭遇しますが、事務局は必要経費を確保する為に今年度は4ドルの値上げをしました。会員数の減少は、国際ロータリーに、大きな危機感を抱かせることになり、それらの事はこの規定審議会に現れていると思います。

会員増強は、ロータリーの意義を知らせる事が大切な事であり、親睦を通して、皆が仲良くなる。自分がロータリーに入って価値を見出している事を知らせることで、ロータリアンを増やしていく、これが本質です。世界でロータリーの価値を上げていく、これをしっかりやって行く事でメンバーが増える。という方向で

第15回 10月12日(水) 天候/雨

やっっていかなければならない。

入会金はありません。誰でもいいから入会させる。こんな事を考えるより、ロータリーはこんな良い仕事をしています、こんな良い奉仕をしています、このような活動に賛同してもらう人に入会してもらう。日本がそのような意味での模範になる。私達が色々な仕事の模範になる事が大事な事と思います。

本稿まとめながら、水野講師が一人一人のロータリアンにR Iが抱える諸問題を提起し投げかけた記念講演であつたと思われま。改革と言うと、元を見ずに先を見つめることが多々ありますが、先だけを求めていたら組織の迷走が始まり行く方向が分らなくなるのではと思います。最初に、変えてはいけない組織の根本を定めてから、改革に移った方がより良い方向に向かったのではと思っています。この度の講演で、取り上げられていたロータリー会員の資格範囲の変更は、職業奉仕の根幹を揺るがす事になるのではないかと私は危惧します。

櫛井 俊介 会員

昨年も地区大会の報告をさせていただきましたが、今年も報告をさせていただきます。

パークホテルに朝8時30分に集合



しまして、皆さんと集合写真を撮りました。バスが入ってきて、なかなか看板の前で撮るのが難しかったです。そして、午前9時より本会議が開催され、本日の会報にも式次第が載っておりますが、知事が来たり、秋元市長が挨拶されたりとか、さすがロータリークラブだなと感じました。

途中、私はお腹が空いたという事で、仲間と街に繰り出しました。この日は札幌マラソンが行われており、大通りを渡れないという状態でしたが、みんなでオータムフェスタへ行こうという事で大通りへ向かいました。しかし、前日でのこのオータムフェスタは終了してありまし

た。それで赤れんがテラスへ出向きまして、私はおそばを食べました。ここはラーメンでも中華でも何でも食べられるテラスでした。私の注文はタンタン付けそばという、少し辛いおそばでした。それから会場に戻りまして、ロータリーのグッズの販売されているオクトンなどを見学、昨年もこのロータリーグッズを買いましたが、今年もロータリーグッズを買ってしまいました。

昼の休憩に入り、昼はカレーライスが振る舞われ、約1000名分のカレーを温かいままで用意をするという、大変だろうなと感じました。また、福神づけが細かく刻まれており、なんだかそれだけで高級感が出ておりました。

その後記念講演があり、ミズノ株式会社会長で、2580地区のバスターガバナーである水野さんが東京オリンピックの話や裏話などもされました。会場が大変温かく、気持ちよく聞けました。その後財団表彰や、出席表彰などをなされました。

懇親会に入ると、高橋幹事も言っておられましたが、テーブル112席、1000名を超えるディナーでした。札幌南ロータリークラブの中道さんが監修した三ツ星レストランの味を堪能いたしました。余興はビリーキングさんという方のステージでした。最後に武部ガバナーが席まで来て下さって記念撮影を致しました。来年は函館で年次大会です。また来年もみんなで楽しく行ければと思っております。以上です。